

# 「すべてはつながる

人文学部 石川華月さん（平成 25 年 3 月卒業）

## ★夢に向かって一直線！

「全て繋がられる」

これは私が大学生活で得た一番の学びです。

大学で学んだ勉強や技術は、もちろん沢山あります。けれど、それらは意識しなければただの“点”でしかありません。点はそれだけでもある程度の力になりますが、点と点を繋げることで、自分に定着する知識や経験になります。また繋げることで新たな知識欲を得ることができ、興味関心も広がります。

その点と点を繋げる作業、私は繋がられるものは限られていると思っていましたが、そうじゃないことに気が付きました。

私は大学入学前から一つの夢がありました。それは経営コンサルタントになること。自営業で頑張る両親の姿を見て、大企業には無い良さが沢山あるにも関わらず、その良さをアピールしきれていない地域の中小企業をもどかしく感じたことがキッカケです。

大学に入ったら、経営の勉強をしよう。高知大学のCBI授業を使って、東京の経営コンサルタント会社にインターンシップをして、修行しよう。そう思いを馳せて入学しました。

## ★「もっと遠回りしろ」－先生からの言葉

入学後、2年の前期に控えたインターンシップを目指し、事前授業を受けたり、経営に関する授業を受講したりと積極的に取り組み、いよいよインターンシップを行う企業を決めようとした時、ある先生からこう言われました。

「お前は一直線すぎる。せっかくの大学生活、色んなものを見て、視野を広げないともったいない。それが、結果的にやりたい仕事に繋がるかもしれないから、もっともっと遠回りをしろ。」

私には、少々煩わしい言葉でした。夢に向かって頑張ることの何が悪いのか、と。結局私は、その言葉を大して気にも留めず、経営コンサルタント会社へのインターンシップを決めました。

実際のインターンシップは、ある企業のマニュアル作成を行ったり、店舗調査を行ったり、激務ではあったものの充実した時間でした。

けれど、業務が高度化するにつれて、段々とコンサルティングを行うクライアントのことや、そこで働く人といった“現場”について、自分の思考が追いつかないことに気づきました。そこで私は、インターン先の企業がコンサルティング事業とは別に運営していた店舗業務にも志願し、実際に自分も店舗で働きながら、コンサルティング業務を行うようにしました。そして、最終的には新店舗の立ち上げスタッフに配属されることになり、がむしゃらに働いて半年間が終了しました。

そして、大学に戻ってきた私は、自分の感覚に異変を感じました。今まで経営コンサルタントになるためには特に必要無いと思っていた授業や、農業や、学生団体の活動など、目に入るもの全てが、経営コンサルタントの仕事に結びついて見え始めたのです。

この時、やっと先生の言っていた“遠回り”の意味を理解しました。私は気付かなかっただけで、仕事に繋がる学びは大学のそこから中に転がっていたのです。特に、高知大学は地域との関わりを積極的に持っていたため、農業を営む人や、地域の役場で働く人、地元の中小企業に関わる場が沢山ありました。また、学生活動も盛んで、自分たちで考えて何かアクションを起こすこともしばしば行われています。ファシリテーターといった議論を円滑に進める手法を学んだり、友達と飲みに行くこと一つを取っても訪れるお店や会話、それら全てが、私がインターン中に感じた“現場”になり得ることに気付いたのです。もし、インターンシップに行くまでの1年間にそれに気づいていたら、インターンシップ中の自分ももっと変わっていたかもしれない、と後悔するほどでした。

### **★興味の幅が広がれば、見える世界も広がってくる**

私はその後、地域に関わることのできる学生団体に所属したり、山へ登って農作業をしたり、学生ファシリテーターとして授業に参加したり、1年生の頃には考えもしなかったほど積極的に動き回りました。すると、どんどん視野が広がって、一つの物事を多角的に見ることができるようになりました。経営コンサルタントという仕事も、それを専門にしている企業でなくても、様々な形で中小企業を支援できる仕事があることにも気づきました。

就職活動の際にも経営コンサルタント企業に絞り込むことはせず、“地域や人と積極的に関わりの持てる会社”というのを軸に様々な業種の企業を見て回りました。結果的には日本中の企業と密に関わることのできる企業を見つけて、そこを第一志望に取組んだ結果、無事に内定を得ることができました。4月からは地元高知を離れて、また東京で働きます。

大切なのは、自分の中に軸や目標を定めること。軸があれば、多少目標が変化しても大きくズレることはありません。最初は周りに目もくれず突っ走った私ですが、今では興味の幅が広がりすぎて、時間が足りない！と思うほどです。しかし、それらは次の目標である、「いつかまた高知に帰ってきて、中小企業を支援する仕事をしたい。」という思いがあるから。だけど、夢を叶える道順はあえて“遠回り”で。東京で色んな企業を見て、もしかしたら他の県にも行って、そうやって沢山の知識と経験を積んでから、また高知へ帰ってきたいと思います。